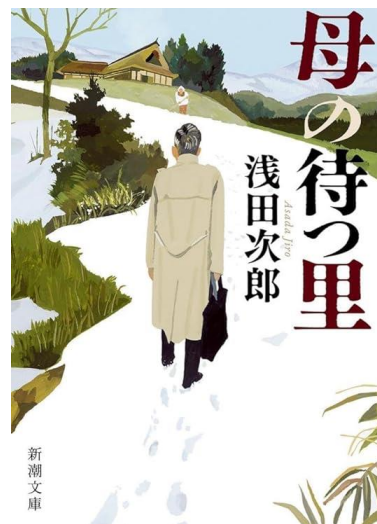




「『ヒリヒリした9月』も過ぎて」

先月、異色の家族小説として反響を呼んでいる、**浅田次郎**の最新作・『**母の待つ里**』の映像化されたNHKドラマをご覧になったでしょうか。都会で孤独に暮らす松永徹（中井貴一）、古賀夏生（松嶋菜々子）、室田精一（佐々木蔵之介）の3人の“子供”が、“母”（宮本信子）の**待つ里**を訪ねる。舞台となる日本の美しい原風景は、岩手県遠野市。「ふるさと」と「母」を、温かくそして切なく描く、浅田次郎が得意とする感動のミステリアス・ファンタジーです。都会で成功を収めた3人の男女が人生に疲れを感じ、心の隙間を埋めるために里帰りをするストーリー。ご覧になれば、彼らが感じる懐かしさと安らぎに共感し、自分自身の心が癒されていくような感覚を味わえるはずです。「**本当の幸せとは何か？**」という問いを投げかける作品。ぜひ再放送の機会があればご覧になってください、原作もお勧めです。



さて、現地時間9月30日（日本時間10月1日）、2024年のMLBレギュラーシーズンの全日程が終了し、ロサンゼルス・ドジャースの**大谷翔平選手**は、本塁打、打点の2部門でナショナル・リーグトップに輝き、日本人選手初の**打撃2冠**を獲得しました。（打率部門でもわずか4厘差の2位となり惜しくも3冠王は逃してしまいました…）

今年の12月、「**ヒリヒリする9月**」を求め、6年間所属したエンゼルスからドジャースへ移籍して、1年目で**悲願の地区優勝**を勝ち取ったのです。（なお、現在同チームはワールドチャンピオンをめざし、プレーオフシリーズでも奮闘中です。）レギュラーシーズンの成績で特筆すべきは「**54-59**」のホームラン**54本**・盗塁**59個**という大記録で、「**凄い！**」に続く形容の言葉もありません。**100年**を超える大リーグの歴史を見ても「**40-40**」を達成した選手は僅か6人で、「**50-50**」もあっさり超えてしまいました。…**50本目**のホームランを打って大谷選手が1塁を回った辺りで、現地で中継している解説者も「**ゴ〜〜ン(入った)！**」「**One of a kind player! One of a kind season, Shohei Ohtani!**」と叫んでいました。この「**One of a kind**」は和英辞典にも載っており、他に類のない[ユニークな]もの、[独特]な人[物]つまり「**唯一無二の**」という意味のようです。

時を同じくして、この9月に日本のスポーツ界でもビッグな出来事がありました。大相撲の**関脇大の里**（24）が25日、両国国技館で11月の九州場所の番付編成会議と臨時理事会において、満場一致で大関に推挙されました。協会からの使者を迎えた大の里は、昇進伝達式の口上で「**唯一無二の力士を目指して精進します**」と決意を述べました。初土俵から1年半足らずのスピード出世であったため、まだ大銀杏（おおいちょう）が結えない「**ちよんまげ大関**」の誕生となるようです。



これからさらに期待が大きい大谷翔平選手と大の里関、**日米「唯一無二」の「競演」**は、私たちの想像をはるかに超えるステージに誘ってくれることでしょう！

